

祝 平成28年 成人おめでとう



## 成人式を終えて新しい人生の旅立ちへ

～平成28年成人式～

## 議会だより



### 定例会12月会議

条例の制定や一部改正、各会計予算審議等

..... 2～3

4名の議員が一般質問

..... 4～7

行政報告

利尻空港の利用状況についてなど 4件 …7

平成28年2月

NO 170

# 定例会12月会議

定例会12月会議は、12月11日に開催されました。

本会議では、町長から条例の制定や一部改正、各会計補正予算などが提案され、慎重な審議の結果、原案どおり可決しました。

## 条例の制定

▽利尻富士町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

〔制定内容〕

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項に基づく個人番号の利用及び法第19条第9号に基づく特定個人情報の提供に必要事項を定めるものとする。

原案可決

## 質疑

伊藤議員 法第9条第2項利用範囲の条文の中で、当該事務の全部又は一部委託を受けた者も同様とするところがあるが委託業者という意味か。

総務課長 関連する委託業者も含まれます。

再質問 当町で該当する委託業者はいるのか。

総務課長 乳幼児医療費、重度、母子医療費、就学支

援などの各業務について、現在委託業者はおりません。

長岡議員 個人番号の利用は医療費助成などを受けるために適切かどうかを把握するために利用することか。

総務課長 特定個人情報の地方税関係情報と住民基本台帳の住民票関連情報を突合するためのものであります。

## 条例改正

▽利尻富士町個人情報保護条例の一部改正について

〔改正点〕

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う所要の改正。

原案可決

▽利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正について

〔改正点〕

・納税の猶予制度に関する手続等の明確化の改正。  
・個人番号や法人番号等の規定の整備。  
・たばこ税に係る特例税率の廃止。

原案可決

▽利尻富士町国民健康保険条例の一部改正について

〔改正点〕

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律により、国民健康保険税の減免申請の記載事項に係る一部改正。

原案可決

▽利尻富士町介護保険条例の一部改正について

〔改正点〕

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく、介護保険料の徴収猶予及び減免申請の記載事項に係る一部改正。

原案可決

▽利尻富士町立学校設置条例の一部改正について

〔改正点〕

・鬼脇地区小中併置校建設により利尻小学校解体に伴う仮設校舎建設による位置変更に伴う条例の一部改正。

原案可決

## その他

▽町道路線の廃止及び認定について

〔内容〕  
港町1号線と8号線を廃止し、港町11号線を認定する。  
原案可決

## 補正予算

▽平成27年度利尻富士町一般会計補正予算(第4号)

〔補正内容〕

補正額2,394万6千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ41億6,023万6千円とする。

〔主な補正項目〕

- ・生活交通路線維持補助金5,500千円追加
- ・水産物輸送費支援事業4,000千円追加
- ・利尻富士利尻線交付金工事移転補償費 10,469千円追加

原案可決

## 質疑

●鬼脇地区のまちづくりについて

飯田議員 鬼脇のまちづくりを今後どのように進めようとしているのか、具体的なプランをお知らせ願いたい。

鬼脇支所長 今年度は町の補助金10万円と財団法人北



# 定例会12月会議 一般質問

12月11日開催の定例会12月会議における、4名の一般質問の要旨をお知らせします。

## 婚活イベントの更なる支援について



米谷 篤 議員

米谷議員 先般提出された本町の人口ビジョンの骨子案によりますと、人口減少の要因は、少子化による「自然減」、若者・子育て世代を中心とした「社会減」の同時進行による人口減少がもたらされているとされています。その一方で、「出生率の上昇」と「社会動態の改善」が人口減少の抑制や人口構造の若返りに結びつくことが、人口シミュレーションにより確認できています。

また、資料によりますと、本町では20歳から44歳までの平均未婚率が男性49.8%、女性40.6%となっているようです。

今後策定される人口ビジョン、利尻富士町総合戦略においては、これらを踏まえ、人口減少を克服するための基本目標や具体的な施策が盛り込まれることと思われませんが、その中でも若い世代の未婚率減少のための施策も重要であると思われれます。その先駆けとして昨年より、利尻富士町商工会青年部を中心とした町内の婚活イベントとしての「島コン」の名称で男女の出会いを設けて、地域の活性化を図っていることとはご承知のことと思います。

地域の自発的な活動から人口減少克服へとつながるこのイベントが継続的に行われ、更に発展させるためにも、行政の支援や助成が必要かと思われれますが、町長の所信を伺います。

町長 少子化対策は政府

をはじめ関係者をあげて取り組まなければならぬ重要な課題であります。北海道においても14振興局毎に出会いの機会の提供や婚活を支援する官民連携の組織である結婚支援協議会を設置するなど様々な取り組みを進めようとしております。

宗谷管内では1市9町村で8月に宗谷管内結婚支援協議会を設置し、11月に「北コン宗谷パートナー」という名称で稚内市にて開催し、男性36名、女性23名が参加されたということがあります。この協議会には利尻富士町から福祉課長が協議会委員として参加しております。

また、当町ではご承知のとおり商工会青年部の主催において平成26年、27年と島コンという出会いの場の提供を実施しており、町としても助成をしております。出会いの場の機会の提供、婚活を

支援する組織の設置については先駆けて実施している商工会青年部やその他の協力団体とどのような方法があるのか、協議会或いは実行委員会方式が良いのかなどを含め、福祉課を窓口として積極的に対応し行政として支援や助成を行いたいと考えております。

再質問 町長の答弁で十分満足してはいますが、各関係者と良く協議をして進めていただきたい。

町長 商工会青年部も十分に協議をしながら平成28年度予算に出来る限りの助成を計上していきたいと思えます。



## 南浜湿原のミズバシヨウ観賞について



伊藤 信勝 議員

たものも存在し、協議には相当の時間を有すると考えられます。

また、環境省では本年度において既存の公園区域、その他周辺地域における自然資源の質の評価や利用実態を踏まえた施設計画の見直し・点検を行っており、当町では南浜湿原の国立公園区域への指定を要望しております。

**伊藤議員** 南浜湿原のミズバシヨウ観賞において、入口の右側鬼脇寄りに群生地があるわけですが、現在の遊歩道からは最も咲き誇る所が見えにくい状況にあると思います。現在の遊歩道からの分岐を少し延長すれば全体が見えるようになると思われますが、訪れ観賞する方達のためにも、一考してもらえるか町長の所見を伺います。

**町長** ミズバシヨウの群生地は現在の遊歩道から少し離れたところにあり、整備をするためにはメヌウシヨウ沼周辺にある民有地所有者の承諾が必要となりますが、土地登記が昭和や大正時代といっ

この保護指定区の種別によっては国による整備或いは自然環境整備交付金などの活用も可能となることもあり、環境省の判断の推移を見守っているところでもあります。このような状況を踏まえ、木道整備については時間を頂き総合的に判断していきたいと思っております。

**再質問** 環境省の関係や不在地主については大変な努力を有すると思う。今すぐ出来ないものであ

れば数年かけてでも検討して頂きたいと思うが町としてやる意向があると思われ取っても良いか。

**町長** 国が国立公園区域に指定してくれば一番良いのでしようけれども、駄目な場合には湿原の木道もだいたい老朽化してきていますし、時間を頂きながら判断をしていきたいと思っております。



南浜湿原

## 地方の創生における出産・子育て対策等について



安楽 昌弘 議員

**安楽議員** 本町でも地方版総合戦略、人口ビジョンの策定が進められ、住民から直接的な意見を聞く総合戦略策定委員会や住民アンケートが実施され、人口減少の克服や豊かな生活と安心して暮らせる将来像が描かれることを期待するところであり

ります。先日、総務民教産建常任委員会においても調査事項として取り上げ、人口ビジョンの骨子案及び住民アンケート調査結果について資料提出され、意見の交換をしたところであり

資料の住民アンケートには、結婚・出産・子育てに関する具体的な要望

や利尻富士町に若者を増やすための記述回答の内容について、つぶさに拝読させていただきましたが、すべての内容について現実味があり、説得力のあるものが回答されていることに感銘を受けました。

特に出産については、過去に島内での出産が可能であったことを踏まえ、可能な方策を模索して頂き、また新たな子育て環境に着手するなど、安心して出産・子育てできる取組が利尻富士町の創生につながるものと思われ、ことから、これらを含めた住民の真摯な意見への政策反映について、町長の所信を伺います。

**町長** 利尻島国保中央病院の管理運営については、利尻町長が組合長であり、当町からも病院組合議会に5名の方が組合議会議員になっておりますので

私からの発言はおこがましいとは思いますが、病院組合長と話をする機会では、産婦人科医、小児科医の確保をしなければならず、今後も厳しいということであります。

ただ、地方創生の根幹は人口問題であり、現在の本町独自の出産子育て支援策をもう一度検証し、見直すものは見直し、新たに支援や助成を出来るものがあれば平成28年度予算あるいは総合戦略に財源を見極めながら反映させていきます。

**再質問** 現在、産婦人科医が常勤していることは好都合であると思えますし、国が地方を元気にさせるというのですからこれを千載一遇のチャンスととらえ、町民の要望を実現させることが急務であると思えます。出産について一番ネックになっているのはどのようなことか。

また、子供たちが雨の日や冬季間に伸び伸びと

遊べる場所があれば親も安心して仕事に専念できると思いますが、新築ではなくても既存の施設の併用や利用替えにより整備することは出来ないか。

**町長** 私が利尻島国保中央病院の管理運営は行っておりませんので私からの発言はおこがましいとは思いますが、国全体としても産婦人科医が不足しており、北海道でも83%の市町村が分娩出来る医療機関がない状態です。現在、利尻島国保中央病院には産婦人科医が常駐してはいますが出産にはその他に小児科医と助産師が必要となり、確保するのは財源もかかるでしょうし、大変な事だと自分では感じております。

子供の遊び場については今年度旧本泊小学校を試験的に一部開放したり、福祉課とも相談しております。早ければ来年度中にでも新築とまでは言えませんがとも

えてみようと思っております。

**再々質問** 私は病院組合議会議員になっていきますので、組合長に提言していきたくと思いますが、地方の首長として上部団体に嘆願などをしてはどうか。

**町長** 小さな町村の首長としてではなく北海道町村会や宗谷総合開発期成会で国に対して医師の確保を要望しており、11月に厚生労働大臣が稚内市へ来た際にも要望しています。

## 質疑・質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局にお問い合わせ下さい。

## 観光資源としての各種イベントの支援・育成について



飯田 睦穂 議員

**飯田議員** 本町の観光客入込数は、平成15年の27万人をピークに年々減少が続いており、昨年度も減少ペースはいくらか鈍くなっているようですが、関係機関の懸命な取り組みをもつても未だ回復傾向には至っておりません。

しかしながら、こうした中にも鴛泊地区では新しくなったフェリーターミナルを核としたイベントが企画・実施され、その成果に今後の手ごたえを感じていることと思えます。また、鬼脇地区においても港湾、漁港をメイン会場に「鮭釣り大会」が開催され、参加申込者も増えているとのことであり、これらイベントがさらに

充実されることを期待しているところであり、本町の「新まちづくり計画」にも観光分野の主要な施策に謳われているように、実行委員会主催による新しいイベントを今後どのように推進・発展させていこうとしているのか、町の取り組み方や関わり方も含めて町長の考えを伺います。

**町長** さけ釣り大会は平成20年から行われており、第1回の参加者は21名で年々参加人数が増えております。本イベントは鬼脇地区観光協会が主催で役員8名で構成されており、本イベントの趣旨は観光戦略の一つであると謳っております。町のかかわりではありますが、主催者側の取り組みを尊重しながら漁協や漁業者との調整や実行委員会への人的参加など、積極的に支援をして大会が観光資

源として盛況となるよう務めてまいりたいと考えております。また、運営、景品面でも実行委員会との協議にもよりますが新たな財源確保の中で側面から支援をしたいと考えております。

次に港ビアガーデンですが、ご承知のとおりフェリーターミナルが新しくなった昨年より実施されており、実施主体は鴛泊港活性化推進協議会で町内外の10団体の10名で構成されております。実施内容は平成27年度は稚内市の協力もありましてサハリンアンサンブルの公演や利尻漁協の協力により無料でのウニ採り体験を実施しました。町としては協議会に対し初年度まちづくり活動助成金30万円、26年度27年度補助金をそれぞれ30万円支出し、その他に各財団からの交付金を受けるための事務的支援も行っております。これらのイベントはこれからも確実に進展する

と確信しているところでもあり、観光資源として私も期待しているところでありますので、実行委員会や協議会をはじめ多方面の意見も聞きながら町として前向きに検討していきます。

**再質問** さげ釣り大会は道具を持ってくるので、車で来た場合の航送料やイベントへ参加する人たちの運賃の助成をフェリー会社に協力してもらう交渉としてはどうか。フェリー会社としても来た人は必ず帰るわけですから悪い話ではないと思います。  
**町長** 確かに島外から来る方の自動車積載料を助成すると来やすいのではないかと聞いておりますので、実行委員会と町が一緒になって働きかけをすることはやぶさかではないと思っております。  
**再々質問** 観光も終わるシーズンにさげ釣り大会があるのでお互い良い形になるような交渉をして頂きたい。(答弁なし)

# 行政報告

定例会12月会議において、町長より「利尻空港の利用状況について」など4件の行政報告がありました。

## ◎利尻空港の利用状況について

●ANA(利尻千歳間の往復搭乗客数)

9月4, 118人、搭乗率54.5%。

※季節運行のため9月まで。

●HAC(利尻丘珠間の往復搭乗客数)

9月1, 383人、搭乗率64.0%。

10月1, 739人、搭乗率83.3%。

11月1, 407人、搭乗率75.2%。

※議会資料より抜粋。

## ◎平成27年度上期観光客入込数について

4月から9月までの観光客入込数は118,700人で対前年より4,500人の減、3.7%の減少となりました。要因についてはフェリー乗船の団体ツアーの減少がありましたが、登山やサイクリングなどの個人型へのシフトが目立っており、外国人宿泊客数は年々増加傾向にあります。

## ◎台湾香港観光プロモーション活動について

11月23日から28日までの日程で台湾香港観光プロモーション活動を実施しました。参加者は町長、産業振興課長、観光協会長、観光協会事務局次長、宿泊業組合長、ホテル関係社長・支配人2名の7名であります。一部行動をともししていただきました方としてはハートランドフェリー株式会社、稚内市、稚内市観光協会、礼文町、猿払村観光協会、ANAクラウンプラザホテルが参加しました。台

湾では旅行会社各社を訪問し、香港では日本政府観光局香港事務所の訪問、メディアや旅行会社などを集めてのセミナーを行うなど観光プロモーション活動を実施しました。訪問先には今年度に利尻富士町へ送客をしていただいている旅行会社や来年のツアーを組んでくれるところもあり、私なりに成果があったと思っております。今後、旅行日程や費用の課題もありますが、今後の観光協会や宿泊事業者の皆様への努力に期待するところであります。

## ◎低所得者燃料購入軽減扶助費支給事業について

昨年は灯油価格の高騰もあり平成26年度に限り助成金を1世帯5千円引き上げ2万5千円と1万5千円を助成しましたが、今年度は安価になりましたが、今年度は電気料金が値上げされていることも踏まえ、1世帯2万円と1万円をそれぞれ支給することとしました。

# 議 会 日 誌

## 12月

- 4日 議会運営委員会（12月会議協議）  
広報・広聴常任委員会（議会だより169号協議）
- 6日 歳末チャリティー演芸会（各議員出席）
- 11日 定例会12月会議
- 15日 清掃施設組合議会  
学校給食組合議会

- 8日 鬼脇老人クラブ潮流会新年交流会（副議長外、鬼脇地区議員出席）
- 9日 鴛泊老人クラブ和友会新春の集い
- 17日 消防団活性化事業

## 1月

- 3日 北見神社歳旦祭（議長出席）
- 4日 利尻山神社歳旦祭（議長出席）  
平成28年成人式（各議員出席）
- 5日 消防団出初式（各議員出席）



## ● ● ● 委員会報告 ● ● ●

### 総務民教産建常任委員会（10月30日開催）

#### 1 町政全般に関する事項

（1）利尻富士町まち・ひと・しごと総合戦略策定状況調査  
「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、本町においても人口減少の克服、地域経済の発展、活力ある地域社会の形成に向けた「利尻富士町まち・ひと・しごと総合戦略」の早期策定が望まれる。

住民アンケートに基づく庁内組織での積極的な議論と総合戦略策定委員会における委員の活発な意見交換に期待するところであるが、住民の知恵と組織活動や仕組みを無駄にしないよう、参考になる意見に耳を傾け、地域が一丸となって考え議論し、地域づくりに参画していくことが何よりも大事であることから、描き出された明確なビジョンと目標を着実に実行し、確実に成果を挙げることができる利尻富士町の創生に取組んでいただきたい。

なお、本事項は次回以降も調査・意見交換を実施したい。

#### （2）鬼脇地区小中併置校建設計画現況調査

小中併置校という新たな取組として、鬼脇地区の歴史を重んじ、特性を生かした主体的な学校活動、交流、指導の充実、地域づくりの拠点となる象徴的な建設を目指していただき、9年間の学校生活を豊かにできる環境の整備を願うところである。

また、地域の安全安心を強化する防災機能の充実と自然エネルギーの活用なども視野に入れ、建設計画については地域との連携に配慮願いたい。

### 広報・広聴常任委員会（12月4日開催）

（1）議会だより利尻富士 No.169の編集についての調査及び協議

## 編集後記

平成28年の新年を迎えてから早や1月以上経ち、暖冬予想の冬も例年並みの寒さと雪に見舞われ、早い春の訪れが待ち遠しい日々が続いております。

さて、いよいよ来月（3月）には3月定例会議が始まり、平成28年度予算審議が始まります。昨年、国は地方創生と称して地方に「まち・ひと・しごと」創生として総合戦略実施計画を求めました。この利尻富士町議会だよりが配布されている頃には実施計画が出来上がり、利尻富士町の将来構造をお示しする事になり、新年度予算や利尻富士町の人口ビジョンにどの様に反映されるか注視してまいりたいと思います。

今年は十二支の9番目の干支「申」年です。申年の申は本来「しん」と読み、「のびる」や「もうす」という意味があり、また、病や厄が去るともいわれ縁起の良いものとされています。

この一年、町民の皆様方が健康で、すべての事に良い年になりますよう、ご祈念致します。

利尻富士町議会

広報・広聴常任委員会一同